

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29219	子ども文化論	荒牧 光子	1年次・後期	講義・2単位	幼免・保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
<p>子どもをとりまく様々な文化的環境について学び、子どもの発達に深く関わる「子ども文化」の機能についての理解を深める。その上で、「子どもにとっての良い文化」育成の視点と手法について考察する。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
子ども文化に関心を持つ	A-① B-②
子どもをとりまく文化的環境を知る	A-① B-②
子ども文化の教育機能の多面性を学ぶ	A-② C-②
子ども文化の方法や技法の習得を目指す	B-① D-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	50%	指定された課題への取り組みにより評価
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	50%	授業内での聞く姿勢や実践への積極的な参加

教科書 / Textbooks
特に指定しない。毎回資料やプリントを配布します。

参考書 / Reference Books
必要な資料は授業時に配布する。

予習・復習 / Preparation・Review
授業スケジュールで示した授業内容について予習をする。授業後は、自分なりのノートづくりをする。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。

その他 / Others
積極的な参加が必要最低条件となる。また、保育所・幼稚園への就職希望者は履修することを推奨する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	授業オリエンテーション・子ども文化とは
	子どもの文化とは何かについて考える。
02	伝統的遊びの体験
	日本の文化が生活や遊びの中でどのような機能を持っているのかを知る。
03	子どもにとっての縁日遊び
	おもちゃを作りながらながら縁日の楽しさを知る
04	ダンスをする
	音楽に合わせて体を動かす心地よさを知る
05	子どもにとっての良い文化を考える①
	あやとりを考える
06	子どもにとっての良い文化を考える②
	新聞紙を使って遊んでみる
07	子どもにとっての良い文化を考える③
	絵本を使ってあそんでみる
08	子どもにとっての良い文化を考える④
	絵本バックを作ってみよう
09	子どもにとっての良い文化を考える⑤
	パネルシアターや紙皿シアターなどを知る
10	子どもにとっての良い文化を考える⑥
	ボードゲーム、カードゲームの世界観
11	子どもの文化の実際
	友達や集団で新聞紙を使って遊ぶ
12	マジック①
	マジック(手品)の世界 行事で使える手品の種類を覚えよう
13	マジック②
	マジックを作り演じる
14	創作
	学んできたものの中からグループで創作をする
15	まとめ
	創作した者の発表 振り返りを行う